

令和元年7月11日（木）
国土交通省関東地方整備局
東京空港整備事務所

記者発表資料

平成30年度優良工事等の事務所長表彰について

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所では、平成30年度に完成した工事及び業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者について、事務所長表彰を下記により執り行います。

記

1. 日 時 令和元年7月17日（水）15時00分から
2. 場 所 東京空港整備事務所 会議室
（東京都大田区羽田空港3-3-1 東京国際空港第三庁舎3階）
3. 表彰件数及び人数
 - （1）優良工事及び優秀工事技術者 1件及び1名
 - （2）優良下請企業及び優秀下請技術者 2件及び2名
 - （2）優良業務及び優秀技術者 2件及び2名
4. 取材について
 - ・ 当日の取材は可能です。
 - ・ カメラ撮り等は、式の進行の妨げにならないよう願います。
 - ・ 会場である当事務所に立ち入る際には、事前申請が必要です。（別紙-2 参照）

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
東京都庁記者クラブ	千葉県政記者会	東京航空記者会

問い合わせ先		
関東地方整備局 東京空港整備事務所		
担当	副所長 おおはし 大橋 てるみ 照美	第一工務課長 おち 越智 のりあき 紀昭
電話	03-5757-2076	

平成30年度優良工事等の表彰について

1. 目的

平成30年度に関東地方整備局東京空港整備事務所で完成した工事及び業務の中から、その施工及び業務への取り組みが優秀で他の模範となる工事及び業務を選定し、当該業者及び技術者を表彰することにより建設における技術の向上及び円滑な事業推進に資することを目的とします。

2. 平成30年度優良工事等〔事務所長表彰〕（別紙－1参照）

・ 優良工事及び優秀工事技術者	1件及び1名
・ 優良下請企業及び優秀下請技術者	2件及び2名
・ 優良業務及び優秀技術者	2件及び2名

3. 優良工事等の概要及び表彰理由〔事務所長表彰〕（別紙参照）

4. 表彰式〔事務所長表彰〕

表彰式は、事務所長はじめ所内幹部が出席して、優良工事の1企業体及び優秀工事技術者の1名、優良下請企業の2社及び優秀下請技術者の2名、優良業務の2社及び優秀技術者の2名が出席し、事務所長から表彰状が授与されます。

平成３０年度優良工事等〔事務所長表彰一覧〕

(１) 優良工事及び優秀工事技術者

工 事 名	工事場所 工 種	優秀工事 技術者名 職 名	業 者 名 代 表 者 名 住 所
東京国際空港Ｃ誘導路他地盤改良工事	東京国際空港 空港等土木	つるおか えいいち 鶴岡 栄一 監理技術者	若築・あおみ特定建設工事共同企業体 若築建設株式会社 東京支店 石井 一己 東京都目黒区下目黒二丁目 23 番 18 号

(２) 優良下請企業及び優秀下請技術者

担当工事名	対象工種	優秀下請 技術者名 職 名	業 者 名 代 表 者 名 住 所
東京国際空港国際線地区連絡道路橋 ランプ部下部工事(その 2)	構築工	もり のぶや 森 伸也 主任技術者	沖島建設株式会社 棚原 哲夫 神奈川県川崎市川崎区四谷下町 26-19
東京国際空港Ｃ誘導路他地盤改良工事	地盤改良工	うえだ ひろし 植田 裕志 主任技術者	東興ジオテック株式会社東京支店 佐藤 隆 東京都中央区銀座 7-12-7

(３) 優良業務及び優秀技術者

業務の名称	優秀技術者名 職 名	業 者 名 代 表 者 名 住 所
東京国際空港Ａ誘導路他地盤改良設計	ふじい てるひさ 藤井 照久 管理技術者	復建調査設計株式会社 東京支社 石田 友英 東京都千代田区岩本町三丁目 8 番 15 号
東京国際空港Ａ滑走路他舗装実施設計	あおき はやと 青木 逸人 管理技術者	日本工営株式会社 東京支店 木村 誠一 東京都千代田区九段北一丁目 14 番 6 号

取材をご希望される皆様へ

当事務所は庁舎のセキュリティ管理のため、入庁には事前の申し込みが必要です。

取材をご希望される場合は以下の入庁申込書に会社名と取材される方のお名前を記載の上、本紙を下記までＦＡＸにてお送りください。

また、当日は東京国際空港第一庁舎にて受付されたあとに当事務所へお越してください。（受付時には社員証等の身分が証明できるものをご提示ください）

【ＦＡＸ送付先】

東京空港整備事務所 総務課 丸岡 宛 ＦＡＸ：０３－５７５６－４９４４

送付締切：令和元年７月１６日（火）１５時００分まで

申請日：令和 年 月 日

入庁申込書	
入庁日	令和元年7月17日(水)
時間	15:00 ～ 16:00
会社名	
氏名 (入庁が予定される方全員の氏名を記載してください。)	
訪問先の課等	東京空港整備事務所 総務課
訪問先の電話	03-5757-2074
担当者	総務課 まるおか 丸岡
用 務	平成30年度優良工事等事務所長表彰式の取材のため
備 考	

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 業者名	わかちく・あおみとくいていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 若築・あおみ特定建設工事共同企業体		
ふりがな 技術者名	つるおか えいいち 鶴岡 栄一	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	とうきょうこくさいくこうしーゆうどうろほかにばんかいりょうこうじ 東京国際空港C誘導路他地盤改良工事		
工 期	(自) 平成29年4月27日 (至) 平成30年7月31日		
事務所名	東京空港整備事務所		
工事概要	本工事は、東京国際空港C誘導路及びG誘導路において、地盤改良工の「静的圧入締固め工法(CPG)」「浸透固化工法(薬液注入)」、付帯工、仮設工及び調査工を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、夜間の誘導路閉鎖時間(0:00～6:00)に施工する必要があり、1日あたりの作業時間が短い。また、地盤(舗装を含む)を削孔し、改良材を注入(改良本数2,012本)する地盤改良工の施工は、航空機の運航に影響を与えることのないよう舗装の隆起を抑制し、規定の舗装勾配を確保しなければならないことから、施工に当たっては、慎重を期しながら進捗を確保する必要がある厳しい施工条件であった。 本工事の「静的圧入締固め工法(CPG)」においては、舗装面隆起抑制対策として、全ての施工箇所でもリバース方式を採用し、圧入圧力を除荷しながら施工、特に土被りが浅いブロックについては、上部を先行造成することで、下層注入時に舗装への圧力伝播の低減を図った。 また、「浸透固化工法(薬液注入工)」においては、注入手順を平面的には片押し施工、鉛直方向には上下を連続させない分散施工を実施、地下構造物周辺での薬液の逸走防止のための浸透固化工法処理範囲の上部にCB(セメントベントナイト)注入することなど、舗装面の隆起対策を確実にかつ適切に行い、航空機の運航に支障なく工事を完了した。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、当該現場の複雑な地盤条件の違いによる注入諸元の変更といった事象に対して、速やかな計画や工程の見直しを行うとともに、日々の進捗状況を管理、輻輳する他工事と日々工程調整することにより、確実な進捗を確保し、工期限内に予定どおり無事に工事を完成させた。 地盤改良工では、新技術を活用し、舗装面の隆起をリアルタイムで計測するとともに、所定の注入量を注入しつつ、舗装面変状を規定値内で収める適切な施工管理を行い、航空機の運航に支障を来すことなく、確実な施工を行った。 約14ヶ月と長い工事期間において、安全大会をはじめとする安全教育を積極的に実施し、施工に先立っては、車両の入退場、車列編成、場内配置のリハーサル訓練や工事用車両にはGNSS携帯端末を搭載し、航空灯火に10m以内に接近した場合、音声による注意喚起を図る工夫を行い安全施工に努め、無事に工事を完了した。		
施工状況写真			
			
静的圧入締固め工法(CPG)施工状況		浸透固化工法(薬液注入工)施工状況	

優良下請企業及び優秀下請技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 元請業者名	わかちくけんせつかぶしがいいしゃとうきょうしてん 若築建設株式会社東京支店
ふりがな 下請業者名	おきしまけんせつかぶしがいいしゃ 沖島建設株式会社
下請工事種別	構築工
ふりがな 下請代表者名	たなはら てつお 棚原 哲夫
下請住所	神奈川県川崎市川崎区四谷下町26-19
ふりがな 下請技術者名	もり のぶや 森 伸也
職名	主任技術者
ふりがな 工事名	とうきょうこくさいくこうこくさいせんちくれんらくどうろきょうらんぷぶがぶこうじ 東京国際空港国際線地区連絡道路橋ランプ部下部工事(その2)
事務所名	東京空港整備事務所
工事概要	本工事は、東京国際空港国際線地区連絡道路橋ランプ部下部工事における地盤改良工、基礎工、橋脚・橋台工、仮設工及び調査工を施工するものであり、川崎市が実施する「都市計画路殿町羽田空港線ほか道路築造工事」と連携し、工事を進めるものである。
下請工事概要	ランプ橋下部工事における、橋台及び橋脚構築に関する掘削・構築及び埋戻し・片付け迄を実施した。
優良下請表彰理由【工事】	本工事は、川崎市が平成32年7月までに道路供用を目標としている「都市計画路殿町羽田空港線ほか道路築造工事」における連絡道路橋ランプ部の下部工事を実施するものであり、後に実施される上部工の工事実施を考慮した場合、工期内の確実な工事完成を求められていた。工事現場は、環状八号線上下線に挟まれた幅17m、延長約1.2km狭隘な場所であり、更に中央部を空港内でも交通事故や道路渋滞の多い交差点で分断されているという特異な環境での施工となっていた。このような制限場所での橋脚の構築工において、工期内に工事を完成させるため、元請け業者の要請に応じ、工期内に無事故無災害で工事を完成させた。
特筆すべき事項	工事現場は交通量の多い環状八号線に挟まれた最大幅17m延長は約1200mと狭隘な条件であったが、決められた工期内で品質を低下すること無く、無事故無災害での工事完了に寄与した。

優良下請企業及び優秀下請技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 元請業者名	わかちく・あおみとくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 若築・あおみ特定建設工事共同企業体
ふりがな 下請業者名	とうこうじおてつくかぶしきがいしゃとうきょうしてん 東興ジオテック株式会社東京支店
下請工事種別	静的締固め工
ふりがな 下請代表者名	さとう たかし 佐藤 隆
下請住所	東京都中央区銀座7-12-7
ふりがな 下請技術者名	うえだ ひろし 植田 裕志
職名	主任技術者
ふりがな 工事名	とうきょうこくさいくこうしーゆうどうろほかじばんかいりょうこうじ 東京国際空港C誘導路他地盤改良工事
事務所名	東京空港整備事務所
工事概要	本工事は、東京国際空港C誘導路及びG誘導路において、地盤改良工の「静的圧入締固め工法(CPG)」「浸透固化処理工法(薬液注入)」、付帯工、仮設工及び調査工を施工するものである。
下請工事概要	静的締固め工(CPG) 1,621本 (注入量 3,191m ³)
優良下請表彰理由【工事】	本工事の「静的圧入締固め工法(CPG)」においては、舗装面隆起抑制対策が重要になるが、注入マシンに専属で1名ずつ職員を配置し、注入圧力の監視や、元請が実施する隆起計測とは別に、注入時のレベル監視をするなど施工管理体制を確立し、確実に適切な施工が出来ていた。
特筆すべき事項	グラウトの注入量や圧力などを的確に管理し、出来型・品質の確保及び周辺地盤への影響抑制に努めた。 また、一日80台以上の車両配置や入場の順序において、施工図を作成し、全作業員に周知するとともにスムーズな入退場を徹底することで、常に安全施工に努めることで車両接触などの事故もなく工事の安全に寄与した。

優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 業者名	ふつけんちょうさせつけいかぶしがいしゃとうきょうししゃ 復建調査設計株式会社東京支社		
ふりがな 技術者名	ふじい てるひさ 藤井 照久	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	とうきょうこくさいくこうえーゆうどうろほかじばんかいりょうせつけい 東京国際空港A誘導路他地盤改良設計		
履行期間	(自) 平成30年10月 3日 (至) 平成31年 3月15日		
事務所名	東京空港整備事務所		
業務概要	本業務は、東京国際空港のA及びA2誘導路における液状化対策のための地盤改良設計を行うものである。		
表彰理由	本業務は、東京国際空港の基本施設の液状化対策を実施するうえで必要となる設計を行うものであり、設計に当たっては、対象エリアの埋立履歴や土質条件を的確に判断し、レベル2地震動に対する液状化判定を実施した。また、液状化対策が必要な箇所については各施設の運用条件に加え、面的な地盤特性等も考慮した合理的な対策深度並びにその改良工法からなる仕様を設定し、変形照査および地盤の安定性の検討を行い、耐震性能を確保する対策の検討を適切に実施し、十分な成果を残した。 また、施工方法・施工機械の選定をする場合、過密なスケジュールで運用を行っている本空港での液状化対策という特殊な条件において、航空機の運航はもとより、既存施設に影響を及ぼさないことが求められる。特にこの制約条件の一つである施工に伴う変位については、既設構造物からの離隔距離を設定したうえで対策工法を選定し、優れた技術力を発揮した。 上記のとおり、業務の履行はもとより、業務に対する積極的な姿勢について、他の業務の模範となるものであり、優良業務及び優秀技術者として表彰するものである。		

優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 業者名	にほんこうえいかぶしがいいしゃとうきょうしてん 日本工営株式会社東京支店		
ふりがな 技術者名	あおき はやと 青木 逸人	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	とうきょうこくさいくこうえーかつそうろほかほそうじっしせつけい 東京国際空港A滑走路他舗装実施設計		
履行期間	(自) 平成30年4月11日 (至) 平成31年3月11日		
事務所名	東京空港整備事務所		
業務概要	本業務は、東京国際空港A滑走路及びA滑走路に接続する誘導路の舗装改良実施設計、K誘導路の舗装改良基本設計、及び解体調査や測量を行うものである。		
表彰理由	本業務は東京国際空港A滑走路及びA滑走路に接続する誘導路の舗装改良実施設計やK誘導路の舗装改良基本設計などを行うものであるが、設計を行うにあたっては、断続的な沈下による影響、複雑な形状となる誘導路すり付け部を含めた規定勾配の遵守、すり付けに伴う勾配変更による排水への影響、滑走路の運用制限を踏まえた施工計画の立案など、多岐に渡る課題を解決していく必要があった。 これらの課題に対し本業務においては、沈下を考慮した目標勾配の設定、勾配変化点の工夫によるすり付け範囲の最小化、流域変更を伴わない計画高の設定、滑走路灯の消灯制限を考慮した施工ステップの作成など、課題解決に向けた積極的な提案や検討により優れた成果を取りまとめた。 さらに誘導路フィレット拡幅部の設計においては、現在の設計対象機材に加え将来就航予定の次世代機材でも照査を行うなど積極的な精度向上に努めるとともに、解体調査結果も踏まえた理論的設計法に基づく合理的な検討を行うなど、優れた技術力を発揮した。 以上のように、発注者の意図を十分に理解した優れた成果を取りまとめ、業務の履行はもとより、業務に対する積極的な姿勢について、他の業務の模範となるものであり、優良業務及び優秀技術者として表彰するものである。		